

2017年度 創造設計第二 ポスターセッション 第1班

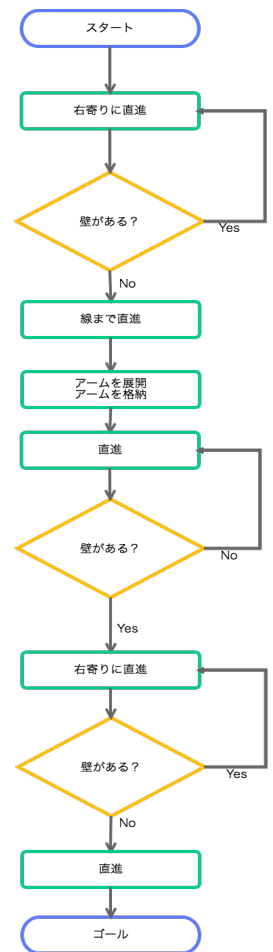
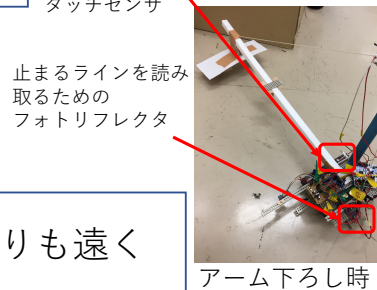
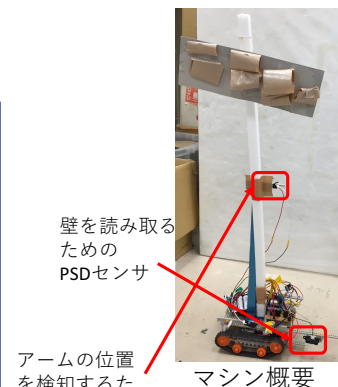
班長：藤本八雲，PM：大崎美沙，会計：岩月道生，記録：津村希望

構造と戦略

2台とも同じような機構，動きをする

壁沿いに進みラインの交差部で止まり，長いアームでピンポン玉を取る．

その後アームをたて，壁に沿うように進み得点する．



特徴・工夫した点

- ・ピンポン玉を取りに行くときに曲がるよりも遠くから取りに行くほうが良いと考えた．
- ・直進のみの動きで2台がすれ違えるように大きさを調節した．
- ・ずれたときにマシンがスムーズに壁に添えるようガイドを取り付けた．

試技会結果

1回目

- 1台目は段差を超えられず0点
- 2台目は糸モータと同時に足まわりが動き，テープが地面とくっつき0点

2回目

- 1台目は壁によりすぎて段差を超えられず0点
- 2台目は停止時の角度がずれてアームを上手く下ろせず0点

総括

センサの不具合などにより，作りながらの調整になってしまい，計画通りに作業をすすめることができなかった．
創造した動作をさせるのは難しかった．